

## 学習センターウォーキング「河川網をめぐり開港場へ」に参加して

2009年11月07日

神奈川同窓会：金田 保男

今年2009年は横浜開港150周年に当たる年との事で、かつての「横濱」をめぐり歴史散策の会を今年も催され参加させて頂いた。横濱は“陸の道と海の道の交差点”とも言われ、それは現在でも通用します。明治20年から明治30年頃の「横濱」の見所は、「河川網」（吉田新田）、「関内・関外」、「大棧橋周辺」、「(現)桜木町駅＝(旧)横濱駅」周辺の変遷を実感できるとの事で楽しみにしていた。開催当日は晩秋の「小春日和」、天候にも恵まれ絶好のウォーキング日和となりました。

出発に先立ち、横浜国立大学教育人間科学部教授 海老原 修さんの「歩く効用・歩き方」「正しい姿勢」等の指導があった。中でも血液循環を滞られないためには、歩き方に“milking action”という「牛の乳絞り」の要領で歩く方法を紹介された。脚の踵から爪先にかけて血液をギュッと搾り出すように歩きましょう、という判りやすい説明に私も心がけたいと感心しました。

説明集会後屋外で準備運動を行い「神奈川学習センター」を出発、大岡川沿い下流に向け歩き始める。河岸の桜並木は紅葉の最中で川面には野鳥（鴨）や魚（鯉）の群れが迎えてくれ、この周辺は心安らぐ場所である。やがて大岡川、中村川の分流点「吉田新田」の最先端に至る。ここは横浜の釣鐘型干拓地（吉田新田）の頭に当たる場所で江戸時代初期の大事業とのこと、（説明資料により1656年から1667年にかけて埋め立て終了）当時の干拓や運河網はどのような方法で行ったか興味深い。「掘割川」の名称からして当時は人海戦術で切り開いていったと考えられるが、同時に“船”（回漕船）もかなりの規模で発達していたと推測される。（船は、馬の50倍も輸送可能。船無くして土石運搬困難）

これより先は、Kサポートの方々が事前調査の上丁寧な説明を行ってくれた。現在の「大通り公園」（グリーンベルト→釣鐘の中心線に当たる）は、以前川で埋立地の「潮抜き」のために切り開いた「吉田川・新吉田川」という一本の運河であったが、その役割を終え埋め立てられたとのこと。市営地下鉄「伊勢佐木長者町」の構内に、かつて運河のあった当時の「橋のレリーフ」があり、以前存在した橋の名称および両サイドの町名「蓬莱町、福富町、長者町、真金町」等“お目出度い”名称が記されている。

今回の散策中今迄何度も見ていながら気が付かなかったひとつに、現「シルクセンター」が旧「英国 1 番館」跡との事。特に「英国 7 番館」は当時の建造物の一部が保存利用されており、説明を受けないと通り過ぎるところであった。もし私一人で資料調査および現認するとすれば、おそらく 3 年以上かかるだろうと推定している。今回“K-サポート”の皆様の説明により、何の苦労も無くそして楽しく、わずか 3～4 時間で効率よく理解する事ができ、関係者のご尽力に感謝しております。

この「歴史散策」に先立ち、横浜開港の歴史を理解するため予め「横浜税関 120 年史」等調べていましたが、偶然に同窓会ホームページに「永井 藤樹」氏の論文「横浜大空襲」〔H21,10,21 投稿〕が掲載され、今回のウォーキング行程に重なるため、“場所確認”の際助かるので参照させていただいた。

「永井氏」のこの論文は“大変な労作”で調査に相当苦勞された事と推定され、利用させていただき感謝いたします。“場所確認”は意外と時間と労力のかかるもので、地図を見てその場所に行きながら特定できず、また振り出しに戻り同じ場所に辿り着く、その繰り返しです。

横浜の歴史散策を終えゴール到着後、楽しみにしていた「打ち上げ」を「大栈橋鯨の背中」で行う。ちょうど喉も渇いており準備されていたビールが旨い。

夕暮れに映える夜景を肴に話もはずむ。

同じ光景を見ていても、「仕事」の延長で見ていたときとは違う。現役当時は、運河を見ると幅は何メートルか？水深はどれだけか？港を見ると潮の干満（Tidal Range）は何メートルか？それに伴い、どの程度の船（船級）が通行できるか？と常に考えていた。港の光景が美しいとか、ウォーターフロント等全く念頭になかった。何と情緒のない夢のないバカバカしい発想しか出来なかったのだろうか。（現在でも、気になるのは水位だけ）

さて、この河川網散策の行事は、来年度以降も継続されると聞く。この間に私は何を考えるか？「神奈川県の中に横浜市があり、横浜市の中に神奈川区がある」この“怪”でも紐解いてみるか！何やら複雑な理由があるようだが、私は当日の話題にもあった「日米修好通商条約」が絡んでいると推定しているがどうだろうか。

終わり

人力3輪自転車のVELLO TAXIで  
若者3人を乗せてミナト・ヨコハマを  
駆け廻っていた。シルクセンター前で撮影。

